



ごあいさつ

専務執行役員 松 下 芳 弘

2020年は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大により経済活動が広範に影響を受け、働き方や価値観を含め、社会全体が大きく変革を迫られました。2021年現時点においても不確実な環境下であり、「ウィズコロナ」「アフターコロナ」のキーワードとともに、「ニューノーマル」に向けた変革が進められています。

「感染症には人類の過密化、都市化が大きく関係しており、環境問題である。」とも言われます。今回のコロナ禍および、近年の地球温暖化に起因すると考えられる異常気象の増加を機に、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）の理念である、地球温暖化等の環境問題および、世界的人道的・社会的課題の解決に向けた具体的な取り組みが、強く求められるようになってきています。

日本政府は2020年10月、「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、12月には「経済と環境の好循環」につなげるための産業政策をまとめた実行計画である「グリーン成長戦略」を公表しました。

一方、日新電機グループでは高電圧応用技術をベースに様々な技術の取り入れと組み合わせ、また市場・お客様ニーズに対応することによって、独自の技術・製品を生み出してきました。具体的には、再生可能エネルギー、分散型エネルギー、省エネルギー関連の電力機器および、システムソリューションであるSPSS（スマート電力供給システム）等の開発、製品化です。また、それらの機器システムの現地工事・調整、点検・修繕を行うライフサイクルエンジニアリング事業も拡大してきています。更に、高電圧／真空技術を応用したビーム・真空応用製品のイオン注入装置、電子線照射装置、ファインコーティング装置は様々な産業材料の高機能化に活用されています。

2021年度からスタートした新中期経営計画 VISION2025では、SDGsを戦略の中核に据え、環境政策規制、エネルギー業界変化、DX（デジタルトランスフォーメーション）、グローバル化、少子高齢化、リスク分散・BCPといった社会変化からの視点および、成長、収益向上、内部固めといった社内戦略からの視点の両面から、基盤事業の体質を強化しながら、新規事業・新製品・新サービス創出による成長拡大を図っていきます。

SDGsの考え方は、当社グループが100年以上の歴史で積み重ねてきた企業理念に通じるものであり、普遍的な価値観です。これまでも、そしてこれからも、この価値観に基づき、当社グループは事業を通じて、社会の発展に貢献し続けることで、持続可能な開発目標（より良い未来）を目指します。

今回の技報では、2020年の技術開発の成果を特集するとともに、一般論文として4つのテーマについて直近の開発状況を掲載いたしました。是非ご高覧を賜り、ご意見・ご指導を頂戴できましたら、幸甚に存じます。最後になりましたが、ステークホルダー皆様の益々のご繁栄をお祈りし、巻頭のご挨拶とさせていただきます。